

令和 年 月 日

国土交通大臣 殿

住 所 東京都千代田区霞が関 2-1-3

名 称 ○○協議会

代表者氏名 国土 太郎

令和 年度物流効率化推進事業費補助金
輸送状況報告書
【モーダルシフト推進事業】

1. 協議会の名称及び代表者

名 称	○○協議会
代表者の氏名 とその所属先	国土 太郎 株式会社○○代表取締役社長

2. 交付した補助額(全体)

補助対象期間	補助金額
〔補助対象期間〕 令和 年 月～令和 年 月	総額 3,777,000 円 交付要綱別表 1 補助対象経費①1,500,000 円 交付要綱別表 1 補助対象経費②2,277,000 円

3. 問い合わせ先(窓口)

社 名	株式会社○○
住 所	東京都千代田区霞が関 2-1-3
担 当 部 署	○○部○○課
担 当 者 名	国土 二郎
連 絡 先	T E L : 00-1234-5678 E-Mail : ~~~@~.co.jp

4. 事業の実施状況

〔策定した計画に係る物流総合効率化事業の状況〕

報告対象期間における計画策定の状況について記載して下さい。

〔課題・改善点等〕

事業の実施後明らかになった課題や改善点等を記載して下さい。また、計画の策定が当初の計画（変更した場合は変更後の内容）どおり実施されていない場合や計画の策定が困難である場合は、その原因についても記載して下さい。

〔今後の取組みについて〕

今後の展望や取組み内容について記載して下さい。また、計画の策定が当初の計画（変更した場合は変更後の内容）どおり実施されていない場合や計画の策定が困難である場合は、その改善策についても記載して下さい。

〔その他特記事項〕

5. 実施内容《総括表》

※経路が1つのみの場合には総括表の記載は不要です。
次ページの表のみ記載で問題ありません。

計画策定期間		(計画策定期間) 令和 年 月～	
		(補助対象期間) 令和 年 月～令和 年 月 (ヶ月)	
		(報告対象期間) 令和 年 月～令和 年 月 (ヶ月)	
計画 策定 経路	事業 実施前		
	事業 実施後		
輸送品目			
輸送 内容	事業 計画	事業 実施 前	
		事業 実施 後	
	輸送 実績	<div style="border: 1px solid red; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>※複数経路で申請する場合には、総括表にそれぞれの経路の合計の貨物量、CO₂排出量、省力化効果及び実施額の合算を計算過程含め記載の上、次ページ以降経路ごとの貨物量、CO₂排出量、省力化効果の詳細を記載してください。</p> </div>	

5. 実施内容

計画策定経路 ()

※経路が複数ある場合は、A、B…、1、2…など経路毎に表を作成して下さい。

計画策定期間		(計画策定期間) 令和 年 月～	
		(補助対象期間) 令和 年 月～令和 年 月 (ヶ月)	
		(報告対象期間) 令和 年 月～令和 年 月 (ヶ月)	
計画策定経路	事業実施前	A 社工場(●市●町)→○IC→(○○道)→▲IC→B 社倉庫(△市△町) A→○IC【20km】、○IC→▲IC【450km】、▲IC→B【30km】	
	事業実施後	A 社工場(●市●町)→○貨物駅→▲貨物駅→B 社倉庫(△市△町) A→○貨物駅【40km】、○駅→▲駅【550km】、▲駅→B【40km】	
輸送品目		食品、雑貨等	
輸送内容	事業計画	事業実施前	<ul style="list-style-type: none"> ・貨物量：10,000t ・CO₂排出量：〈転換前〉1,125.00 t-CO₂ ・省力化効果：〈転換前〉2,500 時間
		事業実施後	<ul style="list-style-type: none"> ・貨物量：10,000t ・CO₂排出量〈転換後〉279.00 t-CO₂ 〈削減量〉846.00 t-CO₂ ・省力化効果：〈転換後〉200 時間 〈削減量〉2,300 時間
	輸送実績	<ul style="list-style-type: none"> ・貨物量：20,000 t ・CO₂排出量 〈転換前〉$20,000\text{t} \times 500\text{km} \times 225\text{g-CO}_2/\text{t} \cdot \text{km} \times 10^{-6} = 2,250.00\text{t-CO}_2$ 〈転換後〉$20,000\text{t} \times 80\text{km} \times 225\text{g-CO}_2/\text{t} \cdot \text{km} \times 10^{-6} = 360.00 \text{ t-CO}_2$ $20,000\text{t} \times 550\text{km} \times 18\text{g-CO}_2/\text{t} \cdot \text{km} \times 10^{-6} = 198.00 \text{ t-CO}_2$ 〈削減量〉1,692.00 t-CO₂ ・省力化効果（トラックドライバー総走行時間） 〈転換前〉平均運転時間 10 時間×運行回数 200 回＝2,000 時間 〈転換後〉平均運転時間 2 時間×運行回数 90 回＝180 時間 〈削減量〉省力化された時間：1,820 時間 省力化率：91.0% 	

報告対象期間における貨物量及びCO₂排出量、省力化効果等の実績を記載して下さい。
貨物量は実際の運搬量を記載し、その根拠となる資料は5年間保管して下さい。

6. 自動化・省人化機器に資する機器の導入結果

※利用計画が複数ある場合は、
計画毎に作成して下さい。

〔実施結果〕

報告対象期間における計画策定の状況について記載して下さい。
また、何人分の省人化になったかを記載して下さい。

〔課題・改善点等〕

事業の実施後明らかになった課題や改善点等を記載して下さい。また、計画の策定が当初の計画（変更した場合は変更後の内容）どおり実施されていない場合や計画の策定が困難である場合は、その原因についても記載して下さい。

〔今後の取組みについて〕

今後の展望や取組み内容について記載して下さい。また、計画の策定が当初の計画（変更した場合は変更後の内容）どおり実施されていない場合や計画の策定が困難である場合は、その改善策についても記載して下さい。

〔その他特記事項〕